

〇水生生物モニタリング調査結果一覧（真野川D）

＜真野川D　水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質（Cs）	水質（Sr）	底質（Cs）	底質（Sr）
D－4 a	○	○	○	○	○	○

＜真野川D　現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
D－4 a	37.7308°	140.9081°	R5.12.5	08:52	09:09	8.1	7.5	砂	10YR4/2	なし	0.12	>50

＜真野川D　一般分析項目・放射性物質分析項目　水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD （mg/L）	COD （mg/L）	DO （mg/L）	電気伝導率 （mS/m）	塩分	TOC （mg/L）	SS （mg/L）	濁度 （度）	Cs-134 （Bq/L）	Cs-137 （Bq/L）	Sr-90 （Bq/L）
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
D－4 a	37.7308°	140.9081°	R5.12.5	08:52	7.3	<0.5	1.9	11.4	14.3	0.07	0.8	<1	0.5	N. D. (0.0014)	0.0020	0.00096

注）N. D. は、not detected（検出下限値未満）を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜真野川D　一般分析項目・放射性物質分析項目　底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> （mV）	含水率 （％）	IL （％）	TOC （mg/g-dry）	土粒子の密度 （g/cm <sup>3</sup> ）	粒度組成								Cs-134 （Bq/kg-dry）	Cs-137 （Bq/kg-dry）	Sr-90 （Bq/kg-dry）
	緯度	経度	日	時刻							礫 （2～75mm） （％）	粗砂 （0.85～2mm） （％）	中砂 （0.25～0.85mm） （％）	細砂 （0.075～0.25mm） （％）	シルト （0.005～0.075mm） （％）	粘土 （0.005mm未満） （％）	中央粒径 （mm）	最大粒径 （mm）			
D－4 a	37.7308°	140.9081°	R5.12.5	09:09	7.5	471	19.1	2.2	3.0	2.710	30.3	33.4	15.3	12.8	5.2	3.0	1.2	9.5	2.3	130	0.83

注）N. D. は、not detected（検出下限値未満）を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜真野川D　分析項目　水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 （kg-wet）	特記事項			放射性セシウム（Bq/kg-wet）			Sr-90 （Bq/kg-wet）
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
D-4 b	真野川本流	37.7312°	140.9096°	R5.12.2	藻類・植物	－	－	－	－	河床付着物（藻類を含む）	－	0.016	－	－	－	37	N. D. (7.9)	37	－
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	49	0.011	幼虫	－	－	16	N. D. (3.6)	16	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0.17	成魚	不明消化物	内臓除去	5.9	N. D. (0.42)	5.9	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	2	0.049	未成年/成魚	－	－	3.3	N. D. (0.92)	3.3	－
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.2	成魚	空胃	内臓除去	9.0	N. D. (0.54)	9.0	－
					粗粒状有機物	－	－	－	－	水底落葉等	－	0.22	－	－	－	43	N. D. (1.5)	43	－

- ※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、　内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、　除去して測定した。
- ※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※７：N. D. は、not detected（検出下限値未満）を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。